

シンポジウム

S(1)-1 5月29日(水) 17:40~19:30 第7会場(ホールD7)

パーキンソン病の初期診断

座長：吉井 文均 (東海大学医学部附属大磯病院)
村田 美穂 (国立精神・神経医療研究センター病院)S(1)-1-1 Premotor phaseの非運動症状
演者：高橋 一司 (東京都立神経病院脳神経内科)S(1)-1-2 神経放射線診断
演者：織茂 智之 (関東中央病院神経内科)S(1)-1-3 経頭蓋黒質超音波診断
演者：三輪 英人 (順天堂大学医学部附属練馬病院脳神経内科)S(1)-1-4 バイオマーカーとしての α -シヌクレイン
演者：小野賢二郎 (金沢大学医学部脳老化・神経病態学)

S(1)-2 5月29日(水) 17:40~19:30 第8会場(ホールD5)

心房細動に伴う心原性脳塞栓症の予防

座長：松本 昌泰 (広島大学大学院医歯薬保健学研究院脳神経内科学)
橋本洋一郎 (熊本市立熊本市市民病院神経内科)S(1)-2-1 心房細動における血栓形成と塞栓症リスク
演者：三田村秀雄 (国家公務員共済組合連合会立川病院)S(1)-2-2 心房細動による心原性脳塞栓症の現状
演者：木村 和美 (川崎医科大学脳卒中医学教室)S(1)-2-3 新規抗凝固薬のエビデンス
演者：北園 孝成 (九州大学大学院医学研究院病態機能内科学)S(1)-2-4 ワルファリンと新規抗凝固薬をどのように遣い分けるか
演者：内山真一郎 (東京女子医科大学医学部神経内科)S(1)-2-5 出血性合併症に対する対策
演者：矢坂 正弘 (国立病院機構九州医療センター脳血管神経内科)

S(1)-3 公募 5月29日(水) 17:40~19:30 第9会場(ホールD1)

後援：日本人類遺伝学会

共催：日本遺伝看護学会

神経筋疾患における発症前遺伝子診断の現状と課題

座長：吉田 邦広 (信州大学神経難病学)
吉田 雅幸 (東京医科歯科大学生命倫理研究センター)S(1)-3-1 一地方病院の遺伝カウンセリングへの取り組み
演者：大森 博之 (山鹿中央病院神経内科)S(1)-3-2 臨床遺伝専門医の立場から考える発症前遺伝子診断の現状と課題
演者：吉田 雅幸 (東京医科歯科大学生命倫理研究センター, 同医学部附属病院遺伝子診療外来)S(1)-3-3 看護職の立場から考える発症前遺伝子診断の現状と課題
演者：柊中智恵子 (熊本大学大学院生命科学研究部)

S(1)-4 5月29日(水) 17:40~19:30 第10会場(G502)

iPS細胞研究の現状と展望

座長：井上 治久（京都大学iPS細胞研究所（CiRA））
吉崎 崇仁（東京歯科大学市川総合病院神経内科，慶應義塾大学医学部神経内科）

- S(1)-4-1 iPS細胞を用いたパーキンソン病の再生医療
演者：高橋 淳（京都大学iPS細胞研究所（CiRA））
- S(1)-4-2 iPS細胞を用いた脊髄再生医療の展望 -基礎から臨床へ-
演者：中村 雅也（慶應義塾大学医学部整形外科学教室）
- S(1)-4-3 iPS細胞を用いた網膜の再生医療
演者：高橋 政代（理化学研究所発生・再生科学総合研究センター網膜再生医療研究開発プロジェクト）
- S(1)-4-4 iPS細胞を用いた脳梗塞の再生医療
演者：大木 宏一（慶應義塾大学医学部神経内科）
- S(1)-4-5 iPS細胞を用いたALSの病態解析
演者：江川 斉宏（京都大学iPS細胞研究所臨床応用研究部門）

S(1)-5 公募 5月29日(水) 17:40~19:30 第11会場(G510)

Corticobasal Syndrome

座長：坪井 義夫（福岡大学神経内科）
饗場 郁子（国立病院機構東名古屋病院神経内科）

- S(1)-5-1 CBSの臨床および背景疾患
演者：下畑 享良（新潟大学脳研究所神経内科）
- S(1)-5-2 CBSと関連する遺伝子変異
演者：土井 宏（横浜市立大学医学部神経内科学・脳卒中医学）
- S(1)-5-3 CBSにおける画像診断
演者：篠遠 仁（神経内科千葉所長，放射線医学総合研究所上席研究員）
- S(1)-5-4 CBSのバイオマーカーと鑑別診断
演者：徳田 隆彦（京都府立医科大学分子脳病態解析学・神経内科学）

S(2)-1 5月30日(木) 10:00~11:50 第5会場(ホールB5(1))

病態仮説に基づくアルツハイマー病治療法開発の現状と展望

座長：下濱 俊（札幌医科大学医学部神経内科学講座）
玉岡 晃（筑波大学医学医療系神経内科学）

- S(2)-1-1 コリン仮説に基づくAD治療法開発の現状と展望
演者：下濱 俊（札幌医科大学医学部神経内科学講座）
- S(2)-1-2 アミロイドカスケード仮説に基づくAD治療法開発の現状と展望
演者：岩坪 威（東京大学大学院医学系研究科神経病理学分野）
- S(2)-1-3 タウを標的とした認知症治療の現状と展望
演者：高島 明彦（国立長寿医療研究センター）
- S(2)-1-4 酸化ストレス仮説に基づくアルツハイマー病治療法開発の現状と展望
演者：布村 明彦（山梨大学大学院医学部精神神経医学）

S(2)-2 5月30日(木) 10:00~11:50 第6会場(ホールB5(2))
 パーキンソン病の非薬物療法とエビデンス
 座長：高橋 良輔 (京都大学大学院医学研究科脳病態生理学講座臨床神経学(神経内科))
 服部 信孝 (順天堂大学医学部附属順天堂医院脳神経内科)

S(2)-2-1 パーキンソン病の最新リハビリ療法
 演者：林 明人 (順天堂大学附属浦安病院リハビリテーション科・脳神経内科)

S(2)-2-2 反復経頭蓋磁気刺激(rTMS)療法
 演者：代田悠一郎 (東京大学医学部附属病院神経内科)

S(2)-2-3 パーキンソン病に対するDBS療法－当施設での取り組み－
 演者：佐藤 澄人 (北里大学医学部脳神経外科)

S(2)-2-4 エビデンスの無い治療法の対応
 演者：藤本 健一 (自治医科大学内科学講座神経内科学部門)

S(2)-3 5月30日(木) 10:00~11:50 第7会場(ホールD7)
 免疫性神経疾患の新しい展開：脳から自律神経障害まで

座長：松尾 秀徳 (国立病院機構長崎川棚医療センター)
 飯塚 高浩 (北里大学医学部神経内科)

S(2)-3-1 自己免疫性脳炎とその周辺
 演者：米田 誠 (福井県立大学看護福祉学部)

S(2)-3-2 抗グリシン受容体抗体関連疾患の臨床スペクトラム
 演者：飯塚 高浩 (北里大学医学部神経内科)

S(2)-3-3 Isaacs症候群とその周辺疾患
 演者：渡邊 修 (鹿児島大学病院脳神経センター神経内科)

S(2)-3-4 自己免疫性自律神経障害 autoimmune autonomic ganglionopathy
 演者：中根 俊成 (国立病院機構長崎川棚医療センター臨床研究部)

S(2)-4 5月30日(木) 10:00~11:50 第8会場(ホールD5)
 運動ニューロン疾患の遺伝学：Update

座長：中野 今治 (東京都立神経病院脳神経内科)
 青木 正志 (東北大学大学院医学系研究科神経・感覚器病態学神経内科学分野)

S(2)-4-1 わが国のALSにおけるC9ORF72
 演者：富山 弘幸 (順天堂大学医学部脳神経内科/神経変性疾患病態治療探索講座)

S(2)-4-2 TDP-43時代のALS病態研究の最前線
 演者：小野寺 理 (新潟大学脳研究所附属生命科学リソース研究センター脳疾患リソース解析部門)

S(2)-4-3 FUS変異によるALS臨床病理と病態
 演者：青木 正志 (東北大学大学院医学系研究科神経内科)

S(2)-4-4 Dynactin 1の機能低下と運動ニューロン変性
 演者：勝野 雅央 (名古屋大学病院神経内科)

S(2)-5 5月30日(木) 10:00~11:50 第9会場(ホールD1)
 神経疾患におけるMR撮像法の最先端

座長：福山 秀直 (京都大学医学研究科附属脳機能総合研究センター)
 五十嵐博中 (新潟大学脳研究所統合脳機能研究センター)

S(2)-5-1 神経疾患におけるMR撮像法の最先端：脊髄小脳変性症を中心に
 演者：渡辺 宏久 (名古屋大学医学部神経内科)

- S(2)-8 5月30日(木) 10:00~11:50 第12会場(G409)
末梢神経の再生医学：難治性末梢神経疾患治療の新たな展望
座長：祖父江 元 (名古屋大学大学院医学系研究科脳神経病態制御学(神経内科学))
芳川 浩男 (兵庫医科大学内科(神経・脳卒中科))
- S(2)-8-1 シュワン細胞株を用いた末梢神経再生機構の解析
演者：三五 一憲 (公益財団法人東京都医学総合研究所末梢神経病態研究室)
- S(2)-8-2 血液神経関門と末梢神経再生
演者：神田 隆 (山口大学大学院医学系研究科神経内科)
- S(2)-8-3 末梢神経疾患治療の新たな水平線
演者：平田 仁 (名古屋大学大学院医学系研究科手の外科)
- S(2)-8-4 中枢神経系と末梢神経系の再生研究
演者：岡野 栄之 (慶應義塾大学医学部生理学教室)
- S(2)-9 5月30日(木) 10:00~11:50 第13会場(G701)
群発頭痛の病態解明と治療
座長：北川 泰久 (東海大学医学部附属八王子病院)
荒木 信夫 (埼玉医科大学神経内科)
- S(2)-9-1 群発頭痛の病態生理に関する最近の進歩
演者：島津 智一 (埼玉精神神経センター神経内科)
- S(2)-9-2 本邦における群発頭痛の実態
演者：今井 昇 (静岡赤十字病院神経内科)
- S(2)-9-3 群発頭痛の治療に関する最近の進歩
演者：清水 利彦 (慶應義塾大学医学部神経内科)
- S(2)-9-4 群発頭痛の臨床現場の実際
演者：大和田 潔 (碧桜秋葉原駅クリニック)
- S(2)-10 5月30日(木) 10:00~11:50 第14会場(セミナー室1)
神経内科教育のcontinuum
座長：道勇 学 (愛知医科大学神経内科)
山脇 正永 (京都府立医科大学総合医療・医学教育学)
- S(2)-10-1 医学教育の質保証と国際認証評価
演者：奈良 信雄 (東京医科歯科大学医歯学教育システム研究センター)
- S(2)-10-2 臨床研修医教育Update
演者：田邊 政裕 (千葉大学医学部附属病院総合医療教育研修センター)
- S(2)-10-3 専門医教育Update – 専門医制度改革の現状と対応する専門医教育 –
演者：村岡 亮 (国立国際医療研究センター医療教育部)
- S(2)-10-4 神経内科における専門医教育
演者：西澤 正豊 (新潟大学脳研究所臨床神経科学部門神経内科学分野)
- S(2)-10-5 大学院教育の実態からみた課題と展望
演者：吉良 潤一 (九州大学大学院医学研究院神経内科)

S(3)-1 5月31日(金) 10:00~11:50 第10会場(G502)

神経疾患患者救済のための神経学会災害対策ネットワーク作り

座長：水澤 英洋（東京医科歯科大学大学院脳神経病態学（神経内科））

阿部 康二（岡山大学大学院医歯薬学総合研究科脳神経内科学）

S(3)-1-1 震災と神経内科医－総合診療医としての重要性－

演者：寺山 靖夫（岩手医科大学内科学講座神経内科・老年科分野）

S(3)-1-2 在宅人工呼吸器使用患者への対応をどうするか

演者：青木 正志（東北大学大学院医学系研究科神経・感覚器病態学講座神経内科学分野）

S(3)-1-3 福島の経験に基づく神経学会への提案

演者：宇川 義一（福島県立医科大学医学部神経内科学講座）

S(3)-1-4 日本神経学会災害救援ネットワークの構築に向けて

演者：阿部 康二（岡山大学大学院医歯薬学総合研究科脳神経内科学，IT化推進委員会）

S(3)-2 5月31日(金) 13:30~15:00 第2会場(ホールC)

日本神経学会英文誌創刊記念シンポジウム：「英語でどう書く？ どう発表する？」

座長：辻 省次（東京大学大学院医学研究科神経内科）

S(3)-2-1 日本神経学会の国際化と英文誌の創刊

演者：水澤 英洋（東京医科歯科大学大学院脳神経病態学（神経内科））

S(3)-2-2 論文の投稿から査読，改訂，採択，出版にいたるプロセスのABC

演者：辻 省次（東京大学大学院医学研究科神経内科）

S(3)-2-3 英文誌への感想や実際の経験談など[Neurology and Clinical Neuroscienceに期待すること]

演者：杉本あずさ（昭和大学医学部内科学講座神経内科学部門）

西島 春生（青森県立中央病院神経内科）

西本 祥仁（慶應義塾大学神経内科）

S(3)-2-4 編集委員に聞いてみよう！

演者：西野 一三（国立精神・神経医療研究センター）

下畑 享良（新潟大学脳研究所神経内科）

S(3)-3 5月31日(金) 13:30~15:20 第5会場(ホールB5(1))

脳梗塞急性期治療の最前線

座長：阿部 康二（岡山大学大学院医歯薬学総合研究科脳神経内科学）

棚橋 紀夫（埼玉医科大学国際医療センター神経内科）

S(3)-3-1 脳梗塞急性期の病態と治療のターゲット

演者：田中耕太郎（富山大学附属病院神経内科）

S(3)-3-2 rt-PA静注療法の現状とtime windowの延長

演者：峰松 一夫（国立循環器病研究センター）

S(3)-3-3 脳卒中の脳血管内治療の最前線

演者：坂井 信幸（神戸市立医療センター中央市民病院）

S(3)-3-4 脳保護療法の現状と将来展望

演者：北川 一夫（大阪大学大学院医学研究科神経内科学）

S(3)-3-5 脳梗塞急性期の抗凝固療法・抗血小板療法

演者：伊藤 義彰（慶應義塾大学医学部神経内科）

S(3)-4

5月31日(金) 13:30~15:20 第6会場(ホールB5(2))

共催: 日本てんかん学会

Basics of Epilepsy Treatment and Advances of Seizure Focus Localization

Chairs: Sadatoshi Tsuji (International University of Health and Welfare)

Akio Ikeda (Department of Neurology, Kyoto University Hospital and Graduate School of Medicine)

S(3)-4-1

Current antiepileptic treatment in women of child-bearing age

Speaker: Torbjörn Tomson (Department of Clinical Neuroscience, Karolinska Institutet, Stockholm, Sweden)

S(3)-4-2

Routine scalp EEG: The diagnostic role in epilepsy

Speaker: Ayumu Onuma (Department of Neurology, Kohnan Hospital)

S(3)-4-3

Usefulness of long term video EEG monitoring and factors for consideration

Speaker: Hiroshi Shigeto (Fukuoka Sanno Hospital)

S(3)-4-4

Progress in functional neuroimaging of epilepsy

Speaker: Hiroshi Matsuda (Integrative Brain Imaging Center, National Center of Neurology and Psychiatry)

S(3)-4-5

The role of neuropsychological examinations

Speaker: Mitsuhiro Yamano (Central Japan Railway Company, Shizuoka Health Care Center)

S(3)-5

5月31日(金) 13:30~15:20 第7会場(ホールD7)

Pathogenesis and Treatment of NMO

Chairs: Yasuto Itoyama (National Center Hospital, National Center of Neurology and Psychiatry)

Makoto Matsui (Department of Neurology, Kanazawa Medical University)

S(3)-5-1

Clinical spectrum of NMO: How broad is it?

Speaker: Brian G. Weinshenker (Department of Neurology, Mayo Clinic, Rochester MN, USA)

S(3)-5-2

Neuropathology of NMO: a nosological consideration

Speaker: Kazuo Fujihara (Department of MS Therapeutics, Tohoku University Graduate School of Medicine)

S(3)-5-3

NMO pathogenesis mechanisms and new therapeutic approaches

Speaker: Alan S. Verkman (University of California, San Francisco, USA)

S(3)-5-4

The role of IL-6 dependent plasmablasts in the pathogenesis of NMO

Speaker: Takashi Yamamura (Department of Immunology, National Institute of Neuroscience, NCNP)

S(3)-6

5月31日(金) 13:30~15:20 第8会場(ホールD5)

神経再生医療とリハビリテーション

座長: 岡野 栄之 (慶應義塾大学医学部生理学教室)

長岡 正範 (順天堂大学大学院リハビリテーション医学)

S(3)-6-1

脳梗塞の幹細胞治療-ヒトと動物における成果-

演者: 本望 修 (札幌医科大学医学部附属フロンティア医学研究所神経再生医療学部門)

S(3)-6-2

脳梗塞の幹細胞治療におけるリハビリテーションの役割

演者: 石合 純夫 (札幌医科大学医学部リハビリテーション医学講座)

S(3)-6-3

自家嗅粘膜移植による損傷脊髄機能再生法

演者: 岩月 幸一 (大阪大学大学院医学系研究科脳神経外科学講座)

S(3)-6-4 神経再生医療におけるリハビリテーション基本戦略(脊髄再生医療患者での経験も含めて)
 演者：田島 文博 (和歌山県立医科大学リハビリテーション科)

S(3)-7 5月31日(金) 13:30~15:20 第9会場(ホールD1)

Gene Silencing Therapy for Neurological Diseases

Chairs: Beverly L. Davidson (Department of Neurology, University of Iowa, USA)
 Shinichi Takeda (National Center of Neurology and Psychiatry)

S(3)-7-1 RNAi medicine for the brain
 Speaker: Beverly L. Davidson (University of Iowa, Iowa, USA)

S(3)-7-2 Advances in RNA interference(RNAi)therapeutics
 Speaker: Muthiah Manoharan (Alnylam Pharmaceuticals, Cambridge, MA, USA)

S(3)-7-3 Antisense oligonucleotide therapies for the treatment of neurodegenerative diseases
 Speaker: C. Frank Bennett (Isis Pharmaceuticals Inc., USA)

S(3)-7-4 A new class of oligonucleotide drug
 Speaker: Takanori Yokota (Department of Neurology and Neurological Science, Tokyo Medical and Dental University)

S(3)-8 5月31日(金) 13:30~15:20 第10会場(G502)

共催：日本神経感染症学会

中枢神経系感染症の遺伝子診断の進歩

座長：亀井 聡 (日本大学医学部内科学系神経内科学分野)
 大原 義朗 (金沢医科大学医学部微生物学講座)

S(3)-8-1 細菌性髄膜炎の遺伝子診断
 演者：生方 公子 (北里生命科学研究所感染制御・免疫学部門)

S(3)-8-2 結核性髄膜炎の遺伝子診断：PCR法による診断の進歩と今後の展開
 演者：高橋 輝行 (崇徳会長岡西病院神経内科)

S(3)-8-3 真菌性脳髄膜炎の遺伝子診断
 演者：大野 秀明 (国立感染症研究所真菌部第一室)

S(3)-8-4 トキソプラズマ脳炎のPCR検査法
 演者：浅井 隆志 (慶應義塾大学医学部熱帯医学・寄生虫学)

S(3)-9 5月31日(金) 13:30~15:20 第11会場(G510)

感覚障害を伴う近位筋優位型神経原性筋萎縮症(HMSN-P)：疾患確立の歴史と分子病態

座長：中川 正法 (京都府立医科大学神経内科)
 高嶋 博 (鹿児島大学大学院医歯学総合研究科神経病学講座神経内科・老年病学)

S(3)-9-1 沖縄型神経原性筋萎縮症(HMSN-P)の疾患概念の確立と歴史
 演者：高嶋 博 (鹿児島大学大学院医歯学総合研究科神経病学講座神経内科・老年病学)

S(3)-9-2 TFG変異による運動ニューロン死のメカニズム
 演者：梶 龍兒 (徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部感覚情報医学講座臨床神経科学分野)

S(3)-9-3 琉球型筋萎縮症(HMSN-P)の神経病理
 演者：吉田 眞理 (愛知医科大学加齢医科学研究所)

S(3)-9-4 琉球型筋萎縮症(HMSN-P)の病因遺伝子
 演者：石浦 浩之 (東京大学医学部附属病院神経内科)

S(3)-10 5月31日(金) 13:30~15:20 第12会場(G409)

神経筋疾患の超音波診断

座長：幸原 伸夫 (神戸市立医療センター中央市民病院神経内科)
西山 和利 (北里大学医学部神経内科学)**S(3)-10-1** 超音波でALSは診断できるか？

演者：三澤 園子 (千葉大学大学院医学研究院神経内科学)

S(3)-10-2 脱髄性ニューロパチーの超音波診断

演者：杉本 太路 (広島大学病院脳神経内科)

S(3)-10-3 筋疾患の超音波診断

演者：寺澤 由佳 (徳島大学医学部神経内科)

S(3)-10-4 神経超音波検査と電気生理検査によるcombination diagnosis：CMT病型診断を中心に

演者：能登 祐一 (京都府立医科大学附属病院神経内科)

S(3)-10-5 手根管症候群の超音波診断

演者：中道 健一 (虎ノ門病院リハビリテーション科)

S(3)-11 5月31日(金) 13:30~15:20 第13会場(G701)

Recent Progress in Multiple System Atrophy

Chairs: Hideki Mochizuki (Department of Neurology, Osaka University Graduate School of Medicine)

Atsushi Takeda (Department of Neurology, Tohoku University School of Medicine)

S(3)-11-1 Pathogenesis of multiple system atrophy

Speaker: Takafumi Hasegawa (Department of Neurology, Tohoku University School of Medicine)

S(3)-11-2 Genetics from familial multiple system atrophy

Speaker: Jun Goto (Department of Neurology, The University of Tokyo Hospital)

S(3)-11-3 Neuroimaging of multiple system atrophy

Speaker: A. Jon Stoessl (The Pacific Parkinson's Research Centre and National Parkinson Foundation Centre of Excellence at UBC & Vancouver Coastal Health, Canada)

S(3)-11-4 Mesenchymal stem cells as a potential therapeutic candidate of multiple system atrophy

Speaker: Phil Hyu Lee (Department of Neurology, Yonsei University College of Medicine / Severance Biomedical Science Institute, Yonsei University, Seoul, Korea)

S(4)-1 6月1日(土) 8:00~9:50 第6会場(ホールB5(2))

Vascular Dementia and Its Associated Conditions – Vascular Cognitive Impairment (VCI)

Chairs: Hidekazu Tomimoto (Department of Neurology, Mie University Graduate School of Medicine)

Osamu Onodera (Department of Molecular Neuroscience, Resource Branch for Brain Disease, Brain Research Institute, Niigata University)

S(4)-1-1 Overview of the neuropathology of vascular cognitive disorders

Speaker: Raj N Kalaria (Institute for Ageing and Health, NIHR Biomedical Research Building, Newcastle University, Newcastle upon Tyne, UK)

S(4)-1-2 Chronic cerebral hypoperfusion and dementia

Speaker: Kenichiro Yata (Department of Neurology, Mie University Graduate School of Medicine)

- S(4)-1-3 Cerebral amyloid angiopathy and cognitive impairment
Speaker: Masafumi Ihara (Department of Stroke and Cerebrovascular Diseases, National Cerebral and Cardiovascular Center)
- S(4)-1-4 Vascular cognitive impairment (VCI) and gene
Speaker: Atsushi Watanabe (National Center for Geriatrics and Gerontology, Laboratory of Research Advancement)
- S(4)-1-5 Subgroups of AD associated with diabetes mellitus based on brain imaging
Speaker: Haruo Hanyu (Department of Geriatric Medicine, Tokyo Medical University)

S(4)-2 6月1日(土) 8:00~9:50 第7会場(ホールD7)

片頭痛を基礎疾患とする薬物乱用頭痛の病態解明と治療

座長：鈴木 則宏 (慶應義塾大学医学部神経内科)
平田 幸一 (獨協医科大学神経内科)

- S(4)-2-1 片頭痛慢性化の病態生理
演者：柴田 護 (慶應義塾大学医学部神経内科)
- S(4)-2-2 本邦における片頭痛慢性化の実態
演者：古和 久典 (鳥取大学医学部脳神経医科学講座脳神経内科学分野)
- S(4)-2-3 片頭痛慢性化が社会活動に与える影響
演者：五十嵐久佳 (富士通クリニック頭痛外来)
- S(4)-2-4 慢性片頭痛の治療
演者：渡邊 由佳 (獨協医科大学内科学(神経))

S(4)-3 6月1日(土) 8:00~9:50 第8会場(ホールD5)

神経心理学の進歩：たいせつなことをわかりやすく

座長：河村 満 (昭和大学医学部内科学講座神経内科学部門)
武田 克彦 (国際医療福祉大学三田病院神経内科)

- S(4)-3-1 病巣からみた高次脳機能障害
演者：鈴木 匡子 (山形大学大学院医学系研究科高次脳機能障害学)
- S(4)-3-2 記憶は脳のどこにあるのか？
演者：藤井 俊勝 (東北福祉大学健康科学部)
- S(4)-3-3 失語症 - 古くて新しい問題
演者：波多野和夫 (佛教大学社会福祉学部)
- S(4)-3-4 神経心理学と意識無意識
演者：武田 克彦 (国際医療福祉大学三田病院神経内科)

S(4)-4 6月1日(土) 8:00~9:50 第9会場(ホールD1)

Non-coding Repeat Expansion Disorders

Chairs: Kinji Ohno (Division of Neurogenetics, Nagoya University Graduate School of Medicine)
Tohru Matsuura (Department of Neurology, Okayama University Graduate School of Medicine, Dentistry and Pharmaceutical Sciences)

- S(4)-4-1 Repeat-associated diseases, mutagenesis, pathogenesis, and therapeutic avenues
Speaker: Christopher E. Pearson (The Research Institute, The Hospital for Sick Children, Toronto, Canada)
- S(4)-4-2 Spinocerebellar ataxia type 31
Speaker: Kinya Ishikawa (Department of Neurology and Neurological Science, Tokyo Medical and Dental University)

- S(4)-4-3 Clinical features of novel ALS/SCA crossroad mutation Asidan(SCA36)
Speaker: Koji Abe (Department of Neurology, Okayama University)
- S(4)-4-4 Found in translation: Novel disease mechanisms in Fragile X Tremor Ataxia Syndrome
Speaker: Peter K. Todd (The Bucky and Patti Harris Professor of Neurology, University of Michigan Medical School, USA)
- S(4)-4-5 The expanded GGGGCC repeat in C9orf72 is translated into aggregating dipeptide-repeat proteins in FTLT/ALS
Speaker: Dieter Edbauer (Ludwig-Maximilians Universität München, Munich, Germany)

S(4)-5 6月1日(土) 8:00~9:50 第10会場(G502)

プリオン病の最新情報

座長：水澤 英洋（東京医科歯科大学大学院脳神経病態学（神経内科））
山田 正仁（金沢大学大学院脳老化・神経病態学（神経内科学））

- S(4)-5-1 プリオン病の基礎、サーベイランス、感染予防
演者：三條 伸夫（東京医科歯科大学大学院脳神経病態学（神経内科））
- S(4)-5-2 プリオン病の臨床像と疫学、特に硬膜移植後CJD
演者：浜口 毅（金沢大学附属病院神経内科）
- S(4)-5-3 画像によるプリオン病の診断と鑑別診断
演者：藤田 浩司（徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部感覚情報医学講座臨床神経科学分野）
- S(4)-5-4 髄液によるプリオン病の診断と鑑別診断
演者：佐藤 克也（長崎大学大学院医歯薬学総合研究科感染分子解析学）
- S(4)-5-5 プリオン病の治療：現状と研究の最前線
演者：坪井 義夫（福岡大学医学部医学科神経内科学）

S(4)-6 6月1日(土) 8:00~9:50 第11会場(G510)

共催：日本リハビリテーション医学会

脳卒中のリハビリ：回復期6か月の壁をこわす新しい治療戦略

座長：石合 純夫（札幌医科大学医学部リハビリテーション医学講座）
林 明人（順天堂大学附属浦安病院リハビリテーション科・脳神経内科）

- S(4)-6-1 痙縮に対するボツリヌス療法
演者：宮城 愛（徳島大学病院神経内科）
- S(4)-6-2 ボツリヌス療法とリハビリテーションの実践
演者：正門 由久（東海大学医学部附属病院リハビリテーション科）
- S(4)-6-3 rTMS治療とリハビリテーション
演者：安保 雅博（東京慈恵会医科大学附属病院リハビリテーション医学講座）
- S(4)-6-4 促通反復療法の治療成績と効果的な併用療法の開発
演者：下堂 蘭 恵（鹿児島大学大学院医歯薬学総合研究科リハビリテーション医学）
- S(4)-6-5 半側空間無視に対するプリズム順応の臨床応用
演者：太田 久晶（札幌医科大学保健医療学部作業療法学科）

S(4)-7 6月1日(土) 8:00~9:50 第13会場(G701)

不随意運動の病態生理

座長：宇川 義一 (福島県立医科大学医学部神経内科学講座)

後藤 恵 (徳島大学ヘルスバイオサイエンス研究部先端運動障害治療学講座)

S(4)-7-1 不随意運動オーバービュー

演者：宇川 義一 (福島県立医科大学医学部神経内科学講座)

S(4)-7-2 ジストニアの病態生理

演者：梶 龍児 (徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部感覚情報医学講座
臨床神経科学分野)

S(4)-7-3 振戦の病態生理

演者：花島 律子 (東京大学医学部附属病院神経内科)

S(4)-7-4 ミオクロームスの病態生理

演者：美馬 達哉 (京都大学医学部高次機能総合研究センター臨床脳生理)

S(4)-8 6月1日(土) 8:00~9:50 第14会場(セミナー室1)

今後の難病医療

座長：西澤 正豊 (新潟大学脳研究所臨床神経科学部門神経内科学分野)

荻野美恵子 (北里大学医学部神経内科学)

S(4)-8-1 今後の難病医療 概観

演者：荻野美恵子 (北里大学医学部神経内科学)

S(4)-8-2 今後の難病対策の方向性

演者：山本 尚子 (厚生労働省健康局)

S(4)-8-3 世界の難病医療対策

演者：児玉 知子 (国立保健医療科学院国際協力研究部)

S(4)-8-4 当事者からみた難病医療

演者：伊藤たてお (日本難病・疾病団体協議会)

S(4)-8-5 専門医からみた難病医療－現状と問題点を踏まえて今後の方向を探る

演者：葛原 茂樹 (鈴鹿医療科学大学保健衛生学部医療福祉学科)

S(4)-9 6月1日(土) 8:00~9:50 第15会場(セミナー室2)

より良い在宅医療をめざして

座長：新谷 周三 (JAとりで総合医療センター)

成田 有吾 (三重大学医学系研究科看護学科基礎看護学講座)

S(4)-9-1 在宅診療における感染症診療

演者：岩田健太郎 (神戸大学大学院医学研究科微生物感染症学講座感染治療学分野)

S(4)-9-2 神経難病における在宅栄養管理；ALS患者の在宅ケア・終末期ケアを中心として

演者：清水 俊夫 (東京都立神経病院脳神経内科)

S(4)-9-3 看取りまでを支える在宅医療

演者：川越 正平 (あおぞら診療所)

S(4)-9-4 在宅医療の最近の動向

演者：奈倉 道明 (厚生労働省医政局指導課在宅医療推進室)

S(4)-10 6月1日(土) 14:40~16:30 第6会場(ホールB5(2))

MG治療の現状を知り、今後を考える

座長：本村 政勝 (長崎大学病院第一内科)
 檜沢 公明 (総合花巻病院)

- S(4)-10-1 重症筋無力症(MG)患者のhealth-related quality of life(QOL)の現状と治療への提言
 演者：長根百合子 (総合花巻病院神経内科)
- S(4)-10-2 眼筋型MG治療の現状(Japan MG registry 2012)と提言
 演者：鈴木 重明 (慶應義塾大学医学部神経内科)
- S(4)-10-3 経口ステロイド治療の現状と提言
 演者：今井 富裕 (札幌医科大学附属病院神経内科)
- S(4)-10-4 重症筋無力症治療におけるカルシニューリンインヒビターとIVIgの役割
 演者：中根 俊成 (国立病院機構長崎川棚医療センター臨床研究部)
- S(4)-10-5 リツキシマブ治療施行経験と提言
 演者：紺野 晋吾 (東邦大学医療センター大橋病院神経内科)

S(4)-11 6月1日(土) 14:40~16:30 第7会場(ホールD7)

GBS/CIDPをめぐる最新の話

座長：楠 進 (近畿大学医学部内科学講座神経内科部門)
 神田 隆 (山口大学大学院医学系研究科神経内科学講座)

- S(4)-11-1 Guillain-Barré症候群の予後因子
 演者：海田 賢一 (防衛医科大学校内科学3神経内科)
- S(4)-11-2 Fisher症候群とBickerstaff型脳幹脳炎
 演者：桑原 聡 (千葉大学医学研究院神経内科学)
- S(4)-11-3 Bickerstaff型脳幹脳炎の全国疫学調査から分かったこと：病態機序の多様性
 演者：古賀 道明 (山口大学大学院医学系研究科神経内科学)
- S(4)-11-4 CIDPの細胞性免疫
 演者：荒浪 利昌 (国立精神・神経医療研究センター神経研究所免疫研究部)
- S(4)-11-5 Autoimmune autonomic ganglionopathyとacute autonomic and sensory neuropathy
 演者：小池 春樹 (名古屋大学医学部附属病院神経内科)

S(4)-12 6月1日(土) 14:40~16:30 第8会場(ホールD5)

孤発性疾患における遺伝子異常の探索法

座長：辻 省次 (東京大学大学院医学研究科神経内科)
 石川 欽也 (東京医科歯科大学大学院脳神経病態学(神経内科))

- S(4)-12-1 オーバービュー
 演者：辻 省次 (東京大学大学院医学研究科神経内科)
- S(4)-12-2 染色体構造変化：多系統萎縮症でのアプローチ
 演者：矢部 一郎 (北海道大学大学院医学研究科神経病態学講座神経内科学分野)
- S(4)-12-3 Exome解析による孤発性疾患の疾患関連遺伝子の探索
 演者：三井 純 (東京大学医学部附属病院神経内科)
- S(4)-12-4 エピゲノム：Rett症候群から判ったこと
 演者：久保田健夫 (山梨大学大学院医学工学総合研究部環境遺伝医学講座)

S(4)-13 6月1日(土) 14:40~16:30 第9会場(ホールD1)

日本神経学会編纂診療ガイドラインの現況と将来展望

座長：辻 貞俊 (国際医療福祉大学福岡保健医療学部医学検査学科)

山本 光利 (高松神経内科クリニック)

- S(4)-13-1 日本神経学会の診療ガイドライン：その評価と今後の課題
演者：中山 健夫 (京都大学大学院医学研究科健康管理学)
- S(4)-13-2 パーキンソン病診療ガイドラインの編纂方針と問題点
演者：高橋 良輔 (京都大学大学院医学研究科脳病態生理学講座臨床神経学 (神経内科))
- S(4)-13-3 パーキンソン病ガイドラインの概要
演者：武田 篤 (東北大学大学院医学系研究科神経・感覚器病態学講座神経内科学分野)
- S(4)-13-4 パーキンソン病ガイドラインの使用経験から
演者：前田 哲也 (秋田県立脳血管研究センター)
- S(4)-13-5 診療所におけるパーキンソン病診療とガイドライン
演者：立岡 良久 (医療法人立岡神経内科)
- S(4)-13-6 日本神経学会編纂診療ガイドラインの評価と将来展望
演者：山本 光利 (高松神経内科クリニック)

S(4)-14 6月1日(土) 14:40~16:30 第10会場(G502)

今後の医療を支えるために～女性医師のキャリアを持続させるためには？～

座長：永井 博子 (押木内科神経内科医院)

萩野美恵子 (北里大学医学部神経内科学)

- S(4)-14-1 アンケート調査から見えてくる日本神経学会員の現状
演者：深浦 彦彰 (埼玉医科大学総合医療センター神経内科)
- S(4)-14-2 男女共同参画への近畿大学神経内科の取り組み
演者：宮本 勝一 (近畿大学医学部神経内科)
- S(4)-14-3 女性医師のキャリアアップ：東京女子医科大学の取り組み
演者：川上 順子 (東京女子医科大学医学部第一生理学教室)
- S(4)-14-4 男女平等なキャリアアップのシステム，企業での先端的取り組み
演者：成島 由美 (株式会社ベネッセコーポレーション)

S(4)-15 6月1日(土) 14:40~16:30 第11会場(G510)

共催：日本神経救急学会

救急場面における神経内科医のプレゼンス

座長：有賀 徹 (昭和大学病院)

園生 雅弘 (帝京大学医学部神経内科学)

- S(4)-15-1 欧米における神経内科医の神経救急への関わり：卒後教育も含めて
演者：野寺 裕之 (徳島大学医学部神経内科)
- S(4)-15-2 ISLS：神経救急の卒後教育の実践
演者：奥寺 敬 (富山大学大学院医学薬学研究部危機管理医学講座)
- S(4)-15-3 ER診療における神経内科医の役割の重要性
演者：野村 英樹 (杏林大学医学部総合医療学教室)
- S(4)-15-4 脳卒中医・神経内科医の救急への関わり
演者：豊田 一則 (国立循環器病研究センター脳血管内科)

- S(4)-15-5 ER医が神経内科医に期待するもの
演者：中森 知毅（横浜労災病院救命救急センター救急災害医療部）
- S(4)-16 6月1日(土) 14:40~16:30 第12会場(G409)
パーキンソン病(PD)の自律神経障害～全身とのクロストーク
座長：田村 直俊（埼玉医科大学短期大学看護学科）
榊原 隆次（東邦大学医療センター佐倉病院内科学神経内科）
- S(4)-16-1 PDの循環系予備能と運動処方の実際
演者：平山 正昭（名古屋大学医学部保健学科）
- S(4)-16-2 パーキンソン病およびその関連疾患における運動時血圧調節異常
演者：出口 一志（香川大学医学部附属病院消化器神経内科）
- S(4)-16-3 パーキンソン病と消化管運動機能障害(L-DOPA血中濃度との関連性)
演者：土井 啓員（東邦大学医療センター佐倉病院薬剤部）
- S(4)-16-4 パーキンソン病/レビー小体型認知症の血圧と認知機能
演者：朝比奈正人（千葉大学大学院医学研究院神経内科学）
- S(4)-16-5 PD/DLBの抗コリン薬と認知機能
演者：榊原 隆次（東邦大学医療センター佐倉病院内科学神経内科）
- S(4)-17 公募 6月1日(土) 14:40~16:30 第13会場(G701)
ALSにおけるコミュニケーション障害とその対策：完全閉じ込め状態への挑戦
座長：中野 今治（東京都立神経病院脳神経内科）
清水 俊夫（東京都立神経病院脳神経内科）
- S(4)-17-1 ALSにおけるコミュニケーション障害の臨床像
演者：長尾 雅裕（東京都立神経病院脳神経内科）
- S(4)-17-2 ALSにおけるコミュニケーション障害の予測因子
演者：中山 優季（東京都医学総合研究所難病ケア看護研究室）
- S(4)-17-3 ALSにおけるコミュニケーション障害とその対策：
Totally locked-in state患者の脳と脊髄における障害部位と保全部位
演者：小柳 清光（信州大学医学部神経難病学分子病理学部門）
- S(4)-17-4 ALS患者におけるコミュニケーション戦略：BMIの現状と展望
演者：長谷川良平（産業技術総合研究所ニューロテクノロジー研究グループ）
- S(4)-17-5 ALS患者におけるコミュニケーション戦略：脳外科からのアプローチ
演者：吉峰 俊樹（大阪大学大学院医学系研究科脳神経外科）